

平成 29 年 1 月 16 日
四国電力株式会社
中国電力株式会社

海外炭の共同輸送の実施について

四国電力株式会社（香川県高松市、取締役社長：佐伯勇人）と中国電力株式会社（広島県広島市、代表取締役社長執行役員：清水希茂）は、このたび、海外炭の共同輸送を実施することとしましたので、お知らせします。両社が共同で海外炭を輸送するのは、今回で 2 回目です。

本件は、石炭共同輸送による輸送コストの低減を目的として、同じ荷揚港（宇部港^{注1}）を利用する両社間で、積出港、輸送時期および必要量等の調整を行った結果、インドネシア炭の共同輸送について合意に至ったものです。

両社は、今後とも低廉かつ安定的な燃料調達に向け、様々な施策に取り組んでまいります。

また、今回の取り組みが、物流コストの低減を図る瀬戸内エリアでの「国際バルク戦略港湾^{注2}」の整備・推進に資することも期待しています。

< 今回の共同輸送の概要 >

積地	インドネシア・バンジャルマシン沖
出発日	平成 29 年 1 月 15 日
揚地	宇部港
到着時期	平成 29 年 1 月 25 日（予定）
輸送量	約 7 万トン（四国電力：約 4 万トン、中国電力：約 3 万トン）
輸送船	8 万トン級パナマックス船

注 1 四国電力(株)西条発電所および中国電力(株)新小野田発電所は外航船が直接入港できないことから、中継基地として宇部港を活用している。

注 2 貨物の大量輸送による産業の国際競争力強化を目的に、国内の港を選定し集中的に整備するとともに、共同輸送などの企業間連携を促進する取り組み。石炭では徳山下松港、宇部港などが選定。

以上